

神
人
合
一

石 鎚 社 報

発 行 所

〒793-8555
愛媛県西条市西田甲797番地

石鎚神社・石鎚本教
電話 (0897) 55-4044

9・10月号



道

外国の特殊部隊での高官のスピーチが、実に感慨深いものでした。

「朝、起きたら一番に、ベッドメイキングをしる。」

毎朝一番に一つのタスク(課題)を完了させた事が、君たちの自信の積み重ねになる。朝は実に忙しい。だからこそ先ず、今まで寝ていたベッドを整え、それから洗面着替え、食事を。

高官は続けます。君達には実に様々な事が有るだろう。腹の立つ事も苦しい事もあるだろう、そんな君をその日の最後に受け入れてくれるのが、君のベッドだ。決して君を拒否せず、疲れを癒してくれる。

その大切さが解かったら、次に家族とチームメイトを大切にしろ。疲れた君を必ず受け入れてくれるその人達を。そしてその人達を受け入れている国家を。国家の為に君たちは存在する。

全ては律と情で成立つのだと感じました。 武智。

令和七年 霊峰石鎚山 御山開大祭 御神輿渡御・御神像奉持 奉仕者各位

◎七月一日 御神像奉持

中宮成就社から奥宮頂上社

総括責任者

大分崇敬組合

西 勝司 大会長

金幣奉持者

大分崇敬組合

堤 寛 副取締

一番 仁の御神像奉持

大分崇敬組合

姫野 良太 名誉部長

合計 八十一名

二番 智の御神像奉持

中予崇敬組合

宮田 尚樹 元老大顧問

合計 百名

三番 勇の御神像奉持

東予崇敬組合

栗尾 太二 大取締

合計 六十五名



7月1日 頂上社広場

◎七月十日 御神像奉持

奥宮頂上社から中宮成就社

総括責任者

備後崇敬組合

深川 健二

元老大顧問
有功神鏡笏

金幣奉持者

備後崇敬組合

佐藤 孝次 元老

一番 仁の御神像奉持

備後崇敬組合

園尾 英樹 元老大顧問

合計 八十八名

第二番 智の御神像奉持

西条周桑崇敬組合

今井 美文 監長

合計 六十二名

第三番 勇の御神像奉持

西条周桑崇敬組合

工藤 浩棋 副取締

合計 五十名



7月10日 頂上社磐座

◎六月三十日

口之宮本社から中宮成就社

◎七月十一日

中宮成就社から口之宮本社

御神輿渡御奉仕

大保木・石鎚の氏子青年団

並びに有志の皆様

御神輿渡御総責任者

伊藤 竜男 氏

一番 仁の御神輿 責任者

大保木 工藤 浩棋 氏

二番 智の御神輿 責任者

石鎚 佐伯 信男 氏

三番 勇の御神輿 責任者

大保木 曾我部智史 氏



6月30日 成就社



7月11日 本社参道

以上の皆様にご奉仕を頂きました。
謹んでご報告致し、深く御礼を申し上げます。

石鎚神社・石鎚本教

令和七年 御山開き大祭 奉仕勤続表彰行われる

本年の御山開き大祭にて、五年に一度の奉仕者勤続表彰が行われた。

御山開き大祭は、信徒の方のご奉仕無くしては成り立たないお祭りであり、多くの皆様が長きにわたりご奉仕下さいます事に、深く感謝申し上げます。

表彰の対象は、

① 本年を含み、合計十年以上ご奉仕の方。

② 複数場所ご奉仕の場合、頂上社、成就社、土小屋遙拝殿、本社、全ての合計年数。

③ 複数部署ご奉仕の場合、奉仕課、組合奉仕、全ての合計年数。

表彰式は、頂上社、成就社、土小屋遙拝殿、本社の各所で行われた。

長きに渡るご奉仕に心から感謝申し上げ、ご芳名をご披露させていただきます。

勤続表彰者 ご芳名

四十年以上

頂上社

中西 幸男 四十五年

三の鎖元

都築 用典 四十一年

成就社

救護班

曾我 政夫 四十六年

神前受付

西海 賢二 四十二年

三十年以上

頂上社

深川 健二 三十五年

成就社

崇敬

古賀すみえ 三十三年

安芸

村上 純子 三十二年

二十年以上

頂上社

田窪 一善 二十三年

川ノ上一博 二十三年

成就社

総務室

加藤 法泰 二十八年

崇敬

武田登紀子 二十七年

救護班

十亀 浩範 二十三年

河原 廊 二十年

土小屋遙拝殿

都築 芳憲 二十八年

勝見 安美 二十五年

本社

井上 裕之 二十年

牧野 洋 二十年

森田 茂 二十年

森田 るみ 二十年

十年以上

三の鎖元

中村 吉孝 十年

成就社

山口

長野 辰男 十八年

田辺 和彦 十五年

神職室

入江 伸明 十五年

長元 祥泰 十四年

進藤 雄作 十二年

初谷 忠彦 十一年

南予

山内 康治 十二年

備後

西原 善久 十一年

浅利 伸吉 十一年

東予

星川 弘明 十年

中予

山本眞理子 十年

本教

城戸留里子 十年

神前受付

肥田真由美 十年

十亀 勉 十年

土小屋遙拝殿

渡邊 康則 十八年

水口 泉 十五年

濱口 公宏 十四年

澁谷 理恵 十一年

峯本 義晴 十一年

坪内 統 十年

本社

森岡 英子 十二年

善家 祐二 十年

奉仕場所は本年のものです。
名前下の数字は勤続年数です。

順不同・敬称略。

権宮司・十亀 記

日本最古の温泉・道後温泉

道後・石鎚ご縁隊

「源泉お身ぬぐい神事」 七月三日

お山開き大祭の七月三日、松山市の道後温泉旅館協同組合（帽子大輔理事長）・道後石鎚ご縁隊（大木正治隊長）並びにご関係の皆様により、道後温泉の「源泉お身ぬぐい神事」が執り行われました。

このご縁は役行者の開山縁起にさかのぼります。西暦六八四年に白鳳地震が発生。四国地域は甚大な被害があり、道後温泉のお湯も止まりました。その翌年西暦六八五年に役行者が祈りを捧げ石鎚山を開山したお陰もあってか、道後のお湯も再びわき出したそうです。それから千三百四十年の時が流れ、歴史を繙き自然の恵みに感謝する中で、ともに地域の宝である「石鎚山」と「道後温泉」が結びつく事になり、今回十一回目の「源泉お身拭い神事」となりました。

今大祭は夏晴れの中での登山となりました。奥村敏仁前理事長はじめ二十七名は朝五時に松山を出発し土小屋遙拝殿へ。お祓いを受け、頂上社に出発。頂上社にて、源泉献湯を行いました。



新山富左衛門相談役を始め「道後・石鎚ご縁隊」十六名の皆様はロープウェイにて成就社へ。神門にて頂上から下山した皆様を出迎え、成就社

御本殿での源泉・お身ぬぐい神事となりました。

ご参加の皆さんは神門前で隊列を組み、新山相談役を先頭に、神職・氏子立廻の会の前導でご本殿へ参進。殿内では武智宮司以下役員がお出迎えし、厳かな雰囲気での入殿となりました。

神事では、源泉を神前の案へ献湯。祝詞奏上の後、源泉を手桶へ移し替え、内陣へ移動。御神像を拭い清める「お身ぬぐい」を行った後、参列者への御神像拝戴となり、参列者一同お守り頂く事への感謝の気持ちと、心願成就を祈りました。

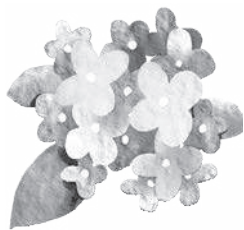
昨年、十周年を迎え、本年は参加人数が過去最高となり、より多くの方々に石鎚山とのご縁を結んで頂きました。これも「お山の神様」と「お湯の神様」のご縁を感じずにはいられません。霊氣溢れるお山に登る事でココロとカラダが元気になり、仕事も生活もより良き方向へと導いて頂きます。生かされて生きている事への「感謝」を忘れず、こ

れからも互いに手を取り合い、愛媛県、松山市、西条市、久万高原町が発展していく様、邁進して参りたいと思います。



今回の奉納にご尽力頂きました皆様に感謝申し上げる報告と致します。

権宮司 十亀 記



令和七年御山開き大祭

御神像奉持

七月一日・十日

奉仕 勤続表彰

ご奉仕を十年以上にして今年も奉仕された方々へ、表彰の品「金之鈴」を贈呈致しました。

歴史と伝統ある御山開き大祭の象徴の一つである御神像奉持へ長らくのご奉仕に心から感謝申し上げます。

七月一日

大分崇敬組合

堀 瑛介・梶田 得忍

中予崇敬組合

佐伯 直哉・山口 拓朗

野中 英樹・沖本 賽

石井 重徳・吉川 忍

七月十日

西条周桑崇敬組合

中村 亮太・池内 大輔

青野 好伸・黒川 尚彦

曾我部数也・佐伯 政信

(順不同・敬称略)

令和七年

お山開き大祭 功労章

神鏡笏 拝受

広島県

かこがわ

水主川珠美 元老大顧問

広島県

丸小 裕美 元老大顧問

奈良県

福本 幹男 元老大顧問

愛媛県

西松 繁夫 元老大顧問

愛媛県

曾我部浩二 元老大顧問

長年のご功績に感謝申し上げます、ご報告と致します。

権宮司 十亀 記

令和七年 先達表彰

本年のお山開き大祭において新先達を五名以上育成され、新会符のお世話を頂いた大先達に表彰状が発令されました。

「会符を受ける」という事は石鎚大神様の信仰の氏子となり、石鎚山と深いご縁を頂く事です。そのご縁結びを今大祭の期間中に数多くお世話下さった『大先達』の顕彰であり、各所に於いて表彰状の発令が執り行われました。

表彰の栄に浴された皆様の今後益々のご活躍をお祈り申し上げ、来年に向けて一人でも多くの新先達と石鎚大神様とのご縁が結ばれますよう祈念し、ご報告と致します。

権宮司・十亀 記

東予崇敬組合

宝光山関東石鎚教会長 富田 直幹 元老大顧問

大分崇敬組合

尺間嶽教会長 田島 大悟 元老

備後崇敬組合

蔵王薬師講社

大瀧 清延 元老

蔵王藤鳶講社

藤原 健司 副監長

令和七年度 夏山大祭 元老以上 昇進者一覧

今般の夏山大祭にて元老以上に昇進された皆様の御芳名をご紹介します。

元老級は石鎚神社先達の幹部となります。今後益々の御活躍をお祈り申し上げます。

《元老》

長野県 大町市 多田 千春
群馬県 前橋市 南 繁芳
大阪府 岸和田市 西川 昌宏
大阪府 大阪市 島本 貴代
和歌山県 和歌山市 久保 輔
愛媛県 宇和島市 岡田 広
松山市 松山市 定井 暢男
松山市 竹村 慎悟

松山市 山本真理子
西条市 和田 健一
西予市 原井川敬三
香川県 高松市 白川 哲也
高松市 岡田 栄一
高松市 白川 郁代
高松市 小松 美嘉
高松市 岡田千恵子
綾歌郡 宮本 光雄
高知県 高岡郡 片岡 抄織
南国市 中村 吉孝
須崎市 松岡 健夫
高知市 弘瀬 順
高知市 古田 郁子
岡山県 井原市 阪田 宗道
広島県 福山市 大瀧 清延
福山市 福山市 佐藤 孝次
福山市 福山市 浅利 君恵
広島市 広島市 難波 宗光
呉市 樽村 建治
安芸郡 宮田 脩平
神石郡 横山 忠男
江田島市 藪下 慎司

山口県 山口県 下関市 長野 達也
下関市 磯邊美代子
大分県 佐伯市 田島 大悟
福岡県 福岡市 六田 一美
福岡市 竹下 一朗
福岡市 神崎 敏郎
福岡市 松藤 宗親
福岡市 藤川 信也
福岡市 古味輪隆史
東京都 町田市 松村 英樹
世田谷区 中村 智広
京都府 京都府 三宅 秀樹
《元老顧問》 群馬県 沼田市 石坂 陵俊
神奈川県 横浜市 大竹 文子
和歌山県 岩出市 佐藤 榮勇
滋賀県 湖南市 石崎 法潤

愛媛県 宇和島市 入江 伸明
今治市 村上 博彦
新居浜市 荒井 康成
香川県 高松市 岡田 英樹
高松市 大本 陽子
高松市 中井 年子
高松市 垂水 雅子
小豆郡 坂出 忠臣
徳島県 美馬市 藤本 敏男
高知県 高知市 三吉 浩之
高知市 須藤 英正
高知市 九内 崇史
岡山県 岡山市 高森 伸
広島県 呉市 今木 靖人
福山市 岸守 良雄
安芸郡 東 正治
尾道市 角 信一郎
山口県 山口市 岡本 正浩
大分県 津久見市 染矢 尊直

白杵市	豊後大野市	豊後大野市	大分市	大分市	福岡県	北九州市	北九州市	岐阜県	《元老大顧問》	京都府	京都府	大阪府	大阪府	枚方市	愛媛県	松山市	松山市	松山市	東温市	今治市	今治市	伊予郡	西予市	
村井 金米	多田 栄夫	奥下 美保	三重野倉司	野々下 進	迫村 香月	竹村 筆年	上田 聖二			中田 道利	岩田 隆海	中井 隆元	室田 博子			宮田 尚樹	西川 英徳	片上 光利	黒田 明子	小林 敏朗	羽藤 繁雄	福森 和彦	山内 康治	
香川県	仲多度郡	さぬき市	高知県	高知市	岡山県	笠岡市	広島県	安芸郡	福山市	豊田郡	豊田郡	呉市	山口県	山陽小野田市	大分県	津久見市	津久見市	福岡県	北九州市	北九州市	宮崎県	北諸県郡		
細川 悦子	飛開原慶子	井上 裕之	畑中 正太	横林 誠	園尾 英樹	有田 明二	新地 正明	北舛 明美	竹中 好正	岩崎 賢一	神品 尊則	藤本 儀男	藤本 早苗	倉田 信雄										

（順不同・敬称略）

(順不同・敬称略)



右、深く御礼を申し上げます。

岡山県

江本 晴男 副取締

徳島県

大西 國夫 副監長
鎌倉 薫 副取締

愛媛県

上松 伊左男 取締

福岡崇敬組合長

梶原 倫子 元老

備後崇敬組合長

西原 善久 有功神鏡笏 元老大顧問

お餅 ご奉納者

令和七年
御山開き大祭成就社
初日祭・中日祭・終了祭



(順不同・敬称略)

令和七年 御山開き大祭
宮司 登拜
七月七日

先達 武智 正人
物品出納 瀧澤 勝
巫女 篠塚 菜乃羽
総務室 高橋 省司
神門 高石 滋
救護班 上田 峰子
物品出納 中田 道利
備後崇敬組合 浅利 伸吉
大分崇敬組合 江崎 奈緒子

お初穂奉納者

お山開き大祭(預かり賽銭)始

《頂上社・初穂》

◎五万円以上

株式会社

ZEALTEAM

《本社・預かり賽銭》

◎七万円以上

富海教会

松岡 英二

◎六万円以上

穂波教会

越智 節子

◎五万円以上

神明遙拝所

大西サカエ

豊後大野市

足立 正夫

《本社・初穂》

◎五万円以上

福岡神和教会 佐伯 良子

赤坂教会 木村 稔

愛知遙拝所 澁谷恵美子

習志野市 木村 篤子

市原市 松浦 節子

《成就社・預かり賽銭始》

◎五拾五万円以上

讃岐神大遙拝所

大高 久呼

◎四拾参万円以上

大阪教会

湊 喜美子

◎壹拾五万円以上

下関教会

田辺 和彦

吉見教会

加藤 法泰

◎壹拾参万円以上

睦美教会

田窪 一善

◎壹拾壹万円以上

豊の国石鎚講社

姫野 昌訓

鐘ヶ淵教会 山田 春治

◎七万円以上

大打山遙拝所 石崎 昌司

大分市 姫野三智広

山口県 原田 浩一

山口県 田村 昌代

《成就社・初穂》

◎貳拾万円以上

松山市 大西志津子

◎壹拾万円以上

福岡神和教会信徒一同

福本講 福本 幹男

(株)浦松コンサルティング 浦松 大八

フアーム 平野英太郎

(株)浦松建設 小島美恵子

◎五万円以上

睦美教会

田窪 一善

瀬桜講社

大竹 文子

石鎚登山ロープウェイ(株)

伊藤 和豊

《土小屋遙拝殿・預かり賽銭》

◎貳拾万円以上

香春教会

川津 守秀

◎壹拾四万円以上

大分石鎚教会 江藤 秀人

◎九万円以上

佐川教会

片岡 抄織

◎七万円以上

和食教会 安岡桂一郎

◎五万円以上

大分市 長澤 講三

《土小屋遙拝殿・初穂》

◎壹拾万円以上

高知市 土佐豊生教会

◎五万円以上

松山市 中原 義憲

広島市 妙光寺参拝団

愛知遙拝所 澁谷恵美子

広島県安芸郡

シタババ建設(株)

シタババハウジング(有)

下馬場 孝・昭子

松山市 渡部 栄子

令和七年六月 一日から

七月二十日まで

五万円以上ご奉納いただき
ました皆様

《本社》

◎五万円以上

石崎サチエ

武智 吉昭

(順不同・敬称略)

ご奉納心から篤くお礼申し
上げます。本社での五千元以上のお初
穂奉納者につきましては、本社
本殿前掲示板に掲載させてい
ただいております。

榎宜 大岡 記



令和七年度
御山開き大祭 頂上社
御神酒奉納者御芳名

令和七年「霊峰石鎚山御山開き大祭」に、頂上社へ御神酒の御奉納を戴きました方々の御芳名を紹介致します。

(敬称略・順不同)

福岡神和教会
佐伯 良子
佐伯 京子
佐伯 妃未
佐伯 龍昇
青木 淑恵
上廣トーヨー住器(株)
上廣サッシ工業(株)
牛尾 武司
高橋 照彦
小山 和子
日高 知子
(株) 日高合金
(有) 日高ビル
富澤 小由里
(株) ソリッド
(有) 松浦竹田ファーム
(株) グッドリーフ

桑原 伸一
中牟田 勝志
藤丸 光一
九州特殊メタル工業(株)
加茂 美博
加茂 なぎさ
森行 康則
山本 哲郎
山本 茂幸
権丈 東
湯浅 静子
龍 大
浪瀬 利栄子
坂本 佐代子
中野 剛
大阪教会 湊 喜美子
大阪教会 島本 貴代
ヴィンテージ 湊 恵子
ヴィンテージ・ミナト
湊 恵子
(株) 福一不動産販売
島本 昭
(株) ハリタ 幡田 賀紀
阿川ランドセル(株)
阿川 政明
阿川ランドセル(株)
阿川 貴代美
日本民泊協会 大植 敏生
JCYシステム 石原 英俊

(株) 寝屋川興業 山口 奈緒
(株) エンタープライズ山要 山口 玉緒
(株) エンプラオートハウス 山口 亮
ロードサービス・イコマ(株) 稲上 満弘
昭和仮設リース(株) 吉見 敏明
和歌山米穀(株) 久保 輔
パシフィックシップマネージメント(株)
スーパースhipマリンサービシズインク
古曾部焼義崇窯 寒川 義崇
佐野 嘉治
四国軽貨物配送 湊 照彦
(有) 一色石材工業所 一色 章二
北大阪清掃(株) 岩元 雅清
(株) 栄幸運送店 藤原 輝男
(株) 新地衛生
澤田 益男
セブン・イレブン 大阪中津南店 新城 孝文
セブン・イレブン 大阪大深町店 新城 孝文
(株) 山源 山本 剛也
山源商事(株) 山本 剛生
(株) 山源北部 山本 健司
藤川 真和
藤川 眞之
藤川 美樹
前田 良秋
(株) クラウン観光交社 藤本 康矢
ジーニープランニング 米山 清彦
龍成興業 北川 貴浩
(株) トータル都市整備 技術2課 大川 千恵子
NPO法人ぴあらいふ 中岸 宏隆
赤坂教会 三山 和良
三山産業(有) 三山 克之
コムショット福山
浅利 伸吉
川原 祐二
細川 始
服部 高弘
矢野 浩司
小林 功志
小林 梨絵
岸守 良雄
サンホテル福山

サンホテル福山	1Fレストラン	パークイン山陽小野田	坂田 光徳	櫻武 起典	貞宗 孝治	貞任 順子	社会保険労務士	清水 峯生	森谷 正志	柴田 正人	山名 弘子	村上 アツコ	水口 泉	水口 登美子	東山 伸也	東山 徳子	岡本 勲	水口 誓雄	窪田 常忠	木下 幸嗣	小田 和也	窪田 博文	蔵王教会	若井ぼん・阿部 龍弥	(株)MKオート	石橋 茂樹	ペイントマン	理容きりしま
玉光堂	(株)ロアール	(株)RESPECT	森井 智子	森本 利恵	(株)大和エンジニア	小黒 ヤイ子	泉 幸子	小林 ミツ	高森 伸	キンデルパーク	小池 啓之	稲越 雅信	(株)木尾建設	(株)京泉工業	廣田 誠一	蔵王薬師講社	安田 明玄	吉本 秀徳	霊威教会	中西 幸男	中西 保子	安達 トキワ	安達 哲也	阿南 怜二郎	阿南 佳織	安部 ミヤ子		
西原 善久	園尾 英樹	南里 松大			和田 吉恵					角南 富美恵			木尾 辰美	京泉 晴洋	大瀧 清延													
板井 恵司	大野 英喜	釘宮 政枝	久保田 靖人	佐師 清美	椎原 勝介	高司 研二	高司 秀和	杉元 せい子	田中 町子	田中 豊	徳光 将太	野口 浩隆	姫野 至彦	姫野 暢之	姫野 豊子	藤原 勇一	福丸 トシ子	古本 政住	(株)丸高水産	(株)みやび農苑	宮本 勝之	宮本 晴子	山崎 泉	ほがらか園	防府教会	藤井 幹彦	梅田 静子	得田 幸治
																			高木 慎次郎	椎原 雅博				山中 將史				
前田 智治	原井 良子	肥国合神遙拝所	古閑 英一郎	宮崎 実可	宮崎 好男	近藤 仁志	松崎 光代	松崎 福美	松崎 文子	(株)仲晃建設	杉山 数江	寺島 チヅ子	戸上 忠	戸上 博伸	戸上 幸典	日高 真也	日高 暢宏	日高 千尋	守本 勝	守本 よしみ	松田 望	松田 恵子	山本 眞理子	山本 征壽	伊藤 佳次	井上 和夫	岡村 吉維	(株)オートサービス砥部
										栗山 重行																		

土山貨物運輸(株)	中川 幸雄	藤代 典久	早川 照生	和田 善一	上野 浩之	石崎 法潤	高野山真言宗瑠璃山薬王院	砂野 秋子	砂野 勝子	砂野 和美	向田 将央	下田 登久子	重松 誠道	石田 絹恵	鵜久森 敦子	豊田 綾香	渡邊 康則	森棟 保彦	宮内 由美	宮内 浩一	西原 和男	武智 保則	神野 武夫	北温運送(株)	白石 眞崇	東雲講社 (二件)	瀬桜講社	
																								白石 隆文		大竹 文子	上山 哲也	
尺間嶽教会	尺間嶽教会	尺間嶽教会	尺間嶽教会	尺間嶽教会	白杵遙拝所	尺間嶽教会	榎並 良香	榎並 好美	菅 敏郎	菅 明彦	吉田教会	山田 操	西井 澄明	(有) 大誠汽船	(有) 大光汽船	近藤 俊郎			植木 和恵	個人稲田タクシー 稲田 昌司	大光山遙拝所 石崎 昌司	山下 耶生	糸谷 美佐子	南井 英子	丸山 敏幸	寺嶋 富久江	谷口 幸代	
小樋 由記	秋吉 康子	松本 幸子	辛島 照代	西原 貞子	木浦 由佳	田島 大悟					越智 汀祐			村山 大介	石丸 正文		下本 洋一										大森 正博	
岡本 得正	岡本 ユウコ	岡本 辰明	山南嘉和教会 岡本 嘉孝	田村 光恵	田村 和稔	岡村 加代子	葉山教会 岡村 信一	大畠 みどり	大分石鎚教会	江戸 正二	畝本 善吾	上田 聖二	藤田 義久	(株) 眞鍋石材店 眞鍋 光昌	今井 信吉	伊東 俊介	伊東 祐宏	伊藤 光貞	井川 順子	(株) アリラン食堂 韓 祐実	荒井 和四郎	(株) 秋山魚市場	秋月 勝子	あいの里(有) 原井川 平	(有) 衛藤測量設計	尺間嶽教会	尺間嶽教会	尺間嶽教会
																										高木 美和子	田代 健一	
小野 キソエ	越智 節子	穂波教会(二件)	永井 久	豊の国石鎚講社 姫野 昌訓	坪内 統	頂上山荘	田尻 淑子	田尻 清久	神原 秋光	川津 守秀	勝本 房利	福地 宗明彦	延岡 等(二件)	福村 成晃	福村 忠宏	広島西教会	水主川 豊伸	丸小 賢三	大高 久呼	佐々木 美代子	片岡 抄織	片岡 瑞恵	佐川教会	西中 松生	西井 静枝	西井 千代進	吉見教会	越智 雅弘

木村 篤子	倉敷中央遙拝所	平松 史朗
草野 瑳智子	導不動院遙拝所 (二件)	
睦美教会		
田窪 一善		
菅 忠昭		
十亀 勉		
武智 晴子		
下関教会	田辺 和彦	
難波江 辰一		
富田 直幹		
富田 悦子		
近藤 哲弘		
近藤 サク		
蓑部 為義		
黒田 勇三		
神明遙拝所	大西 サカエ	
瑞明遙拝所	西川 昌宏	
西川 広明		
十亀 貴文		
今治越智崇敬組合	小林 敏朗	
小松 俊夫		
酒井 幸枝		
酒井 健作		
(有) 藤本石油		
(株) 松本仏壇店		
村上 一也		
川尻東講社	村上 純子	

豊田 尚子	(有) 松本自動車	松本 和子
松本 幸子		
松本 至弘		
高橋 和良		
平岡 明		
平原 幸好		
中村 吉孝		
中村 清一		
六田 一美		
三春 奈京子		
宮崎 崇		
白石 秀希		
常安 英志		
讃岐石鎚遙拝所	高木 康二	
ベルグクラブ	松元 邦夫	
柴田 千重子		
柴田 哲男		
高石 吉朗		
宮木 チエ子		
黒川 栄作		
松浦 節子		
東城 康子		
東城 徳孝		
田窪 美年		
中尾 衣子		
寺島 秀昭		
森 晃一		
森田 茂		

有岡 言悦
和食教会
松田 一高
阿部 信彦
浅野 寛
阿部 圭
崎長 るみ子
道音寺

以上 三八一件

多くのご奉納をありがとうございました。
来年の奉献酒については、

本年御奉納頂きました皆様には例年同様個別にご案内を差し上げます。社報にも奉納案内を掲載いたしますので、頂上社への御神酒奉納を宜しく願います。

担当 権瀬宜 勝本貴大



新入職員

池田 美桜



この度、霊峰石鎚山の総本宮である石鎚神社の巫女として御奉職させていただきましたことになりました池田美桜と申します。六月一日より実習生として、この神聖な場所でも多くのことを学ばせていただきました。西日本最高峰である石鎚山と御神体とするこの地で巫女として皆様をお迎えできること、身が引き締まる思いであると同時に、大変光栄に感じております。まだまだ未熟ではございますが、石鎚大神様への感謝を忘れず、参拝される皆様の心に寄り添い、少しでもお役に立てるよう、日々精進してまいります。どうぞよろしく願います。

第五十五回 霊峰石鎚山

三十六王子社巡拝 並びに納め札奉納

全行程徒歩にて巡拝可能な方を募集、
現在定員二十名を予定！

役行者によって開山されて以来、数多
の修験者によって祈りを捧げられてきた
三十六王子社巡拝行。石鎚神社・石鎚本
教・教会聯合会では、石鎚山三十六王子
社の顕彰事業として、巡拝と祈願納め札
の奉納を行います。左記要領（三泊四
日）にて行います。

《令和七年 三十六王子社巡拝要領》

〔本社集合〕 十月二十四日（金） 午前七時

〔本社解散予定〕 十月二十七日（月） 午後六時

一、会 費 一人 金三万五千円也

一、持 参 品 洗面具・雨衣・防寒具・
簡易アイゼン・着替え・ライト・各
自薬・その他登山装備

一、申込期限 九月末日

一、定 員 二十名（予定）

※世情を鑑みて開催内容の変更並びに
人数の増減を行う場合がございます。
ご了承ください。

一、教会遙拝所所属の方は、各所属の長
を通してお申し込みください。

※個人で参加ご希望の方は、お知り
合いの石鎚の教会・遙拝所の長の紹
介にてご参加ください。

一、参加者は必ず、二組以上の「祈願納
め札」奉納のお世話をお願いします。
※簡易アイゼンは本社にて、千二百円で
頒布しています。

《三十六王子社祈願納め札 奉納申込要領》

一、納め札一組（三十六枚）金五千円也

◎希望者は、住所・氏名を申し込み用
紙に書いて九月十五日までにお申し
出ください。

◎申込書が届き次第貴方へ「納め札」を
送付いたします。（送先は世話人一括
か各人宛か○印を付けてください）
各々に住所・氏名・年齢と祈願内容
を祈願される方がご自身で書きき
ださい。

◎記入済みの「納め札」は十月十日
本社必着するようお願いします。

◎お申し込みは、一人で何組でも結構
ですが、祈願を連名の場合一組二名
以内です。

◎納札奉納祈願申し込みの各位には、
巡拝後「三十六王子社守」を、お世
話人を通じ、あるいは各位に送付申
し上げます。

※お問い合わせ 曾我部権祐宣

TEL ○八九七（五五）四〇四四

退職のご挨拶

篠塚 菜乃羽



この度、八月末日をもちまして退職
させて頂いたたく事となりました。約二
年間という短い間ですが、私自身が県
外から越してきたということもあり、
職員の皆様をはじめ、多くの方にかく
さんサポートをいただき大変お世話に
なりました。石鎚神社で、貴重な経験
をさせて頂いたこと数多くの礼儀
や作法これからの生活の成長にもつな
がるご指導をいただいたこと、この場
所で過ごした日々を忘れずに新たな場
所でも精進して参ります。石鎚神社の
皆様に暖かく迎え入れていただきまし
たことに心より感謝申し上げ退職の挨
拶とさせていただきます。

令和7年 お山開き大祭幟旗奉納

	奉 納 場 所	氏 名	住 所
1	頂上社	西中 剛 様	愛媛県西条市
2	頂上社	北川 貴伸 様	広島県広島市
3	頂上社	一色 章二 様	愛媛県西条市
4	頂上社	一色 百合美 様	愛媛県西条市
5	頂上社	神田山教会 小林 廣子 様	広島県広島市南区
6	頂上社	神田山教会 繁山 秀子 様	広島県広島市南区
7	頂上社	武智 正豊 様	愛媛県松山市
8	頂上社	大阪教会 湊 喜美子 様	大阪府大阪市
9	頂上社	大阪教会 島本 貴代 様	大阪府大阪市
10	頂上社	大阪教会 島本 昭 様	大阪府大阪市
11	二ノ鎖元	吉田教会 越智 汀祐 様	愛媛県西条市
12	二ノ鎖元	吉田教会 越智 汀祐 様	愛媛県西条市
13	二ノ鎖元	大阪教会 今西 弘明 様	大阪府大阪市
14	二ノ鎖元	大阪教会 今西 富子 様	大阪府大阪市
15	二ノ鎖元	大阪教会 新城 孝文 様	大阪府大阪市
16	二ノ鎖元	大阪教会 龍成興業 北川 貴浩 様	大阪府大阪市
17	本社	木浦 孝文・妙美 様	福岡県田川市
18	本社	木浦 誠太・大志 様	福岡県田川市
19	本社	(有)大勝マリン 上田尾 勝巳 様	広島県江田島市
20	本社	(有)大勝マリン 上田尾 たく 様	広島県江田島市
21	本社	鎌田 ルイ 様	広島県江田島市
22	本社	藤田 和行 様	広島県呉市
23	本社	土木 正美 様	東京都江戸川区
24	本社	佐師 勲・佐師 清美 様	大阪府堺市
25	本社	川上 怜士・川上 美緒 様	愛媛県新居浜市
26	本社	浅野 文崇・浅野 佳子 様	愛媛県西条市
27	本社	姫野 三智広 様	大分県大分市

(順不同)

御 奉 納

七月一日から十日までの
霊峰石鎚山お山開き大祭に
て『大幟旗』を本社・成就
社・土小屋遙拝殿境内に御奉
納いただきました。

令和七年七月吉日

『大幟旗』御奉納者

(本社)

神奈川県平塚市

大打山遙拝所

桐野

年久 涼江

神奈川県平塚市

大打山遙拝所

角野

由佳 薫

広島県安芸郡府中町

大打山遙拝所

外和田浩章

淳子

愛媛県伊予郡砥部町大南

田中

清和



(成就社)

安芸教会

西中

剛

(土小屋遙拝殿)

高知県高岡郡

佐川教会 片岡瑞恵・梓

抄織・ゆずか

愛媛県西予市

龍雲山肱川教会

高野山今治別院

亀田

了宣

(順不同・敬称略)

御奉納誠にありがとうございました。



尚、成就社・土小屋遙拝
殿・本社とも一体、二万五千
円にて御奉納を募集しており
ます。

よろしく願いたします。

瀬宜 大岡

令和7年 お山開き大祭 奉納「幟」



二之鎖元



本社 御本殿



本社 御本殿



頂上社

霊峰石鎚山開山一千三百四十年
石鎚神社 列格 百六十年
石鎚本教 創立 八十周年
周年奉祝大祭・記念式典日程

十月四日(土)

十時 奉祝式典・記念表彰

十一時 奉祝行事

日本舞踊

夢華神楽

十二時 奉納だんじり

十三時 祝賀会

十七時 宵宮祭

十月五日(日)

十時 周年奉祝大祭

奉納行事 神楽「陵王」

後 御神輿・花神輿・樽神輿 渡御

御旅所祭

本殿著御後 御神像拝戴

餅投げ・福木投げ

お茶席(無料)

平成27年石鎚本教創立70周年奉祝大祭



十月六日(月)

午前十時 祖霊殿 秋季例大祭・合祀祭

祖霊殿にて秋季例大祭を
斎行し、並びに春季例大
祭以降に届出のありまし
た物故者を新祭神として
合わせ祀る合祀祭を行
います。

過去三年間に合祀されま
した遺族の方へもご案内
申し上げます。ご参
拝をお願いします。

十月七日(火)

午前九時 周年奉祝大祭 後宮祭



周年奉祝大祭

子供みこし

小六までの男の子

お稚児さん

小六までの女の子

十月五日(日曜日) 大募集!!

来る十月五日の周年奉祝大
祭にて、こども神輿のご奉仕、
お稚児さんのご奉仕を募集し
ます。皆様のお子様、お孫様
のご奉仕を是非お願いします。
(保護者同伴・雨天中止)

子供みこし

対象

◇小学生の男の子。服装自由。

集合日時・場所

◇十月五日午前十時より

◇西条市西田 西田自治会館

(石鎚神社本社前、石の鳥
居横)にて受付開始。

ハッピをお貸しします。

◇正午前後、御本殿より出発。

奉仕内容

◇石鎚神社の神輿に続き、こ
ども神輿の渡御運行をお願
いします。

担当

◇西田自治会・敬婦橘支部

お稚児さん

対象

◇四才より小六までの女の子。

集合日時・場所

◇十月五日午前十時より

◇西条市西田 西田自治会館

(石鎚神社本社前、石の鳥
居横)にて受付開始。

◇正午社務所前より出発。

奉仕内容

◇自治会館にて着替え、石鎚
神社の神輿の渡御運行のお
供をお願いします。

担当

◇石鎚敬神婦人会、橘支部

お願い

◇白靴下、白ブラウスをご用
意下さい。

◇装束に限りがありますので、
先着順にてお許し下さい。

◇事前の受付は出来ません。

◇私服で行列へ参加して頂い
ても結構です。

石鎚神社 周年奉祝大祭：10月5日(日) 「おかげ神輿」担ぎ手 募集!!!



西日本最高峰 霊峰石鎚山 総本宮 石鎚神社
「おかげ御神輿」を担いでみませんか？

- ・集 合：午前11時30分・御本殿前 参集殿入口
- ・神輿渡御：正午頃～15時頃まで
- ・服 装：動きやすい格好。鉢巻・法被は神社準備
- ・募集人数：30人（男性）
- ・申込締切：9月25日 厳守
※締切までの申込者は保険に加入します
- ・御本殿～JR 石鎚山駅前御旅所の往復です
- ・雨天時は社務所前までの巡行予定
- ・終了後、お弁当・御神酒をお渡しします



ご不明な点は、石鎚神社までお尋ね下さい。
(TEL:0897-55-4044 FAX:0897-55-7242)
「おかげ神輿」担当：十亀・大岡
「お名前・生年月日・ご住所・連絡先」をお知らせ下さい。

お 名 前	生 年 月 日	ご 住 所	連 絡 先

大分崇敬組合

令和七年度

理事・委員総会

六月十四日 開催

大分県消費生活・男女共同
参画プラザ アイネスにて

田島 大悟 崇敬組合長

名誉部長



出向者

武智宮司・管長

中西名譽顧問・奉賛会会長
佐々木禰宜

組合参加者 五十名

先ず、

最高功労章 金笏 授与

江藤秀人 様

神社・本教 参与

元大分崇敬組合長

大分石鎚教会教会長

続き、

審議事項

○令和六年度活動報告

○令和六年度収支決算報告

○同、監査報告

○令和七年度事業活動方針

○令和七年度会計予算

○定款の改正

○役員改選（副組合長二名）

報告事項

・お山開き大祭 併せ

七月一日 御神像奉持の件

・本社より報告・御案内

前記次第・要項にて、理事・

委員総会が開催されました。

理事・委員総会では、「お

山へ行こう」を合い言葉に各

審議が報告、検討、特にお山

開き大祭七月一日、例年御奉

仕頂いております成就社から

頂上社への御神像奉持の件で

は、継続していく大切さ、「大

分より風が吹く」の気持ちを

大切に取組もうとする姿

は、心強いものが有りました。

そして、今年は霊峰石鎚山開

山一三四〇年・石鎚神社列格

一六〇年・石鎚本教創立八〇

周年の節目の年に、一番の和

魂の御神像奉持の担当とな

り、崇敬組合長・総責任者・

金弊奉持者・一番責任者共々

に、みんな一致団結し素晴らしい奉仕にすることを誓って

おりました。

又、昨年役員改選が行われ

ましたが、新しく二名に副組

合長を追加選出、金子良美元

老大顧問、楠野耕市 大会長

が承認されました。

今後益々の組合の御発展、

皆様方の御健勝をお祈り致し

ます。

合掌

文責 禰宜 佐々木

大分崇敬組合 役員

組合長

田島 大悟 名誉部長

副組合長

姫野三智広 元老大顧問

渡辺 一也 元老大顧問

日野 正士 先達

金子 良美 元老大顧問

楠野 耕市 大会長

会計

木浦 由香 元老顧問

監査

楠野 泰広 副監長

井戸川幸弘 副監長

(敬称略)

階級六月三十日現在)

組合役員



総会の様子



9/14
(日)

アウルカフェ
(クレープ)

アヒルパン
(ベーグル)

石鎚養蜂
(蜂蜜、ハニートースト)

monz (ピザ)

うみとカモメ
(フルーツサンド)

Hitoiro
(チーズハットグ、ポテト)

第2回
お宮
de
まる
し
え

9/15
(祝)

石鎚養蜂
(蜂蜜、ハニートースト)

Ville natale
(ベーグル、サンドイッチ)

大岡蒲鉾 (からあげ)

カジュアルダイニング
BON (ハンバーグ)

ふーみんのごちそう
(韓国料理)

ららジュース
(かき氷、ジュース)

ラポール(アップルパイ)

わだちキッチン
(たこ焼き等)

10時〜15時
石鎚神社会館

3°C (チーズケーキ)

木の根に萌す
(パスタ)

そらまめカフェ
(ドリンク、かき氷)

別子飴本舗
(カレーパン)

☆お問い合わせ☆
石鎚神社会館
0897-55-4168



Instagramにて
新商品やイベント
お知らせ中♪



ふでもじつむぎ屋
(ネームインポエム、トークゼン)

RoseePain
(パン、クロワッサン)

石鎚神社 縁起物招福セット 限定100組 (11月15日より受付開始)

※干支の置物は馬になります



毎年、の定期便を承ります。下記の申し込み書、又はFAX、メールにてお知らせ頂ければ幸いです。

受付は、神社メール、FAX、社務所窓口でございます。
※当社先達会付をお持ちの方、又は社報申し込みの方のみ電話受付致します。

- ・お申込先：石鎚神社
- ・担当：権禰宜 曾我部洋輔
- ・〒793-8555 愛媛県西条市西田797
- ・TEL 0897-55-4044
- ・FAX 0897-55-7242
- ・http://ishi@ishizuchisan.jp



初穂料 ￥5,000 円也(送料着払い)

・振り込み用紙を同送致します。(※招福セットは、12月20日頃にご自宅へお届け致します。)

・以前に定期便お申し込みの方は連絡不要です。解除希望の方はご連絡下さい。

招福セット7点のご案内

- ①福 箕(ふくみ) (天狗のお面) (寸法：14cm×17cm)
- ②御神酒 (寸法：19cm×7cm)
- ③干支置物 (寸法：9cm×14cm)
- ④御塩 (280g) お供え、お清め、お食事等にご利用下さい。
- ⑤教化カレンダー (上下見開きA3サイズ)
- ⑥石鎚魔除け猿 (寸法：約3cm×約2cm)

※一つ一つ手作りの為、猿の色柄・大きさは全て異なっております。

- ⑦天てんおみくじ (天狗のおみくじ) 天てん(天狗様のキャラクター愛称)は幸運を呼ぶ神様です。どうぞ良き所にお飾り下さい。

----- きりとり線 -----

招福セット申込書 (毎年、の定期便 ・ 今回のみ) どちらかに○をお願い致します。

氏 名			電 話 ()
注文個数	個	住 所	〒 -

山のタヌキの

徒然日記 (3)

それにしても、今年の梅雨はすぐに明けたのう。お山

開期間中もお日様は大活躍！

この石鎚山の七合目、成就の森も日陰に入れば幾分涼しい

が、日向はうつかり歩くと干からびてしまう。たかだか三

四十年前のお山開きは、神社のどの窓口にも火鉢があつて

炭火を起こして朝な朝なに暖を取っていたのが信じられん

わい…。



まあ、石鎚山開山以来仰山な年月が流れておるが、ここから拝む石鎚のお山はいつも麗しい…。そうじゃ！今日は、頂上遙拝の鳥居まで朝の散歩と洒落込んでみるかい♪

※ご縁を生かす力は「西日本最高峰で歴史学者さんの講演会を開く」のこと。

そうそう、先日お山のてっぺんの「石鎚神社頂上山荘」で、「西海先生の話聞きたい会」石鎚山岳信仰について知る会」と題して、宿泊者の方を対象に歴史・民俗学者の西海賢二先生の講演があつたんじやと。

西海先生いうたら東京家政学院大学の名誉教授で方々の大学でも講師を務め、日本山岳修験学会や日本民俗学会等の理事も歴任され、石鎚信仰の研究者としてその世界では知らないお方はおらん。タヌキのわしも、よく存じ上げておるし、夏山開きにはもう数十年に亘り成就社の祈禱受付窓口でご奉仕されとる。世の中に色んなタイプの学

者さんがおるらしいが、西海先生は、机上論者ではのうて現場主義の研究者さんで、必ず自分の足で各地のお山に入り、書物を編むお方じやと石鎚神社の前の第十四代武智昭典宮司さんが言われとったのお…。



じやが、この企画を発想する頂上山荘のスタッフさんら

も素晴らしいが、登山道を三〇四時間かけて登る必要のある講演を引き受ける西海先生も素敵じゃ！石鎚山を愛するご両名の思いがこれのご縁を産んだんじやなあ。

当日は、夕食後約一時間、石鎚信仰等のお話をされ、ご宿泊の皆さんは興味深く耳を傾けておられた様じゃ。今年は六月七日と八月九日に催行され、八月はこの講演を聞くのを目的に登山宿泊されるお方もおつて予約で満室。キャンセル待ち状態じやと。

思うに石鎚山開山以来、間違ひなく「西日本最高峰で初めての学者さんの講演会」じゃわい。先生もスタッフさんらも準備含めて何かと大変じゃろうが、頂上社の諸神事の斎行はもちろん、山荘で企画する諸行事は、必然的に西日本最高峰での催行となり、開山されて初めての企画催行となることもある…。

これからもスタッフさんのチームワークで楽しくワクワクする頂上山荘での時空間の創造を期待せずにはおれんわい♪ファイター！

※「見渡すとく身近な所に
様々な達人が居る」のこ
と。

わしらタヌキの仲間にも色々おつて、わしみたいにホントは夜行性なのに昼間にブラブラしてみたり、妙に食べ物を見つるのが早いのもや果ては化けるのがとても上手い仲間もおる(笑)タヌキの世界でさえそうなんじゃから人間様の世界にはもっと様々なお方がおるようで…。

もうずーっと前じゃが、ZOOの法人石鎚なんちゃらという団体のお方が、今まで自分が興味がおつて知らず気付かなかっただけで、田舎に住んでいても視線を変えることができた、色んな人達があちこちに居ることが活動を通して分かったと…。

そうそう、神社の職員さんにも色んな役割の仕事があつて、一つの祭典を斎行するのに、当日は神職さんや巫女さんは祭典奉仕となるが、その準備や片付け、お供えの調達、案内状の手配や発送、参拝やご宿泊の方への様々な対応な

どなど多岐に亘っておるらしい。言うたらどの部分が欠けてもお祭りはできんことにな。…なので、神社の職員さんは当然じゃが、ご奉仕のお方も含めて全員が祭典奉仕とも言えるわい。

ところで神職さんは大概その道一筋のお方が多い様じゃが、他の仕事から神社へご縁があつて奉職された職員さんも結構多いんじやと。

この前のこと、とおるお方が四桁の数字を合わせるスーツケースの蓋が開いたまま逆に鍵が閉まらないようになり、このままでは使えんし、お気に入りをお捨てる訳にも行かず…プロに頼むしかないかと思ふとつた時…神社の職員さんのおとあるお顔を思い出したんじやと…。ん？誰かって？**普段は神社の宮繕を担当される高橋政憲さん**じゃ。

宮繕担当ということで境内の様々な修理や造作はもちろん、ある時はお供えの巨大な魚を捌いたり…、ホント何でもできよる。で、以前そのお方は錠前を制作修理したり、錠前の構造を学び理解してお

つて鍵を使わず解錠する専門家、あの「鍵師」もされとつたらしい。ホント見回してみたら身近な所に達人が居るものじやわい。



で、結果じゃが、そのお方にスーツケースを預け、ちょっとそこを離れとる間にしっかりと蓋も閉まり鍵も施錠、開錠できるようになつておつたんじやと。もとプロといえども、そうかも知れんが、スーツケースのお方は、ご自分でユークチューブとやらも見えて一時間程も格闘？したのにどうにもならなかつたのが簡単に？治つた…。感動するやら、不

思議やら、嬉しいやら！やはり、何でもそうじゃろうが「基本をしっかりと学ぶことの大切さ」を再認識したらしい。基本を知らんスーツケースさんが悪戦苦闘するのにも無理はないわな。『基本を知つて初めて応用ができる。基本がないのは我流でしかない。』…とかいうしのう。

聞くところ都市部では飲食店の従業員さんに当たり前に外人さんもおり、タッチパネルとやらで注文し、それを持つてきてくれるのがロボットらしいのう…。人手不足が深刻らしい。

宮繕さんもおかつては何人かで作業していたことが一人でやらざるを得ないこともあり、職務遂行のためにいろいろ工夫もされとるようじや。大変じゃのう。くれぐれも無理のない様に、お怪我の無い様に『フアイト』！

わしもこのお山の七合目に生まれ育つて三百年ちよつと…。また一つ新たな時代を迎えておる様な気がしよる。

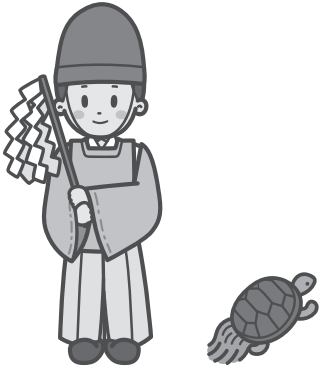
文責 相談員 曾我部英司

石鎚神社
七五三詣

七五三を迎えられるご家族ご親族の皆様、誠に
おめでとうございます。

お子様のつつがない成長は、ご家族の何よりの
喜びと存じます。

神様のお守り、ご家族・
ご先祖様のあたたかなお
守りをいただき、健やか
な成長をお祈りしまし
う。



年 齢	数え年	満年齢
7歳の女兒 おびとき 帯解のお祝い	平成31年 令和元年	平成30年
5歳の男児 はかまぎ 袴着のお祝い	令和3年	令和2年
3歳の男・女 かみおき 髪置のお祝い	令和5年	令和4年

【Q】今年の七五三は何年生ま
れですか？



【Q】祈祷料は？

【A】一件五千円から
兄弟姉妹は左記の通り
です。



一人 五千円
二人 八千円
三人 一万円

【Q】参拝日が雨の予報なの
ですが…

【A】車で本殿までお越し
ください。

【Q】ご祈祷はいつから可能
ですか？

【A】毎日受付しております。
毎月一日と十五日は午
前十時より月次祭の為、
時間の制限がございます。
日時が決まりましたら、電話にてご確
認ください。

【〇八九七―五五―四〇四四】



石鎚神社 ホームページ

QRコード

石鎚神社のホームページは
スマートフォンにてご覧頂
けます。
祭典や季節の情報なども
アップして参りますのでぜひ
ご登録ください。



石鎚神社 HP
QR コード

石 鎚 社 報

〒七九三―八五五五

(発行所) 西条市西田甲七九七

石鎚神社・石鎚本教

【連絡先】電話(〇八九七)

五五―四〇四四 本社

五五―七二四二 FAX

五五―四二六八 会館

五五―七二八一 FAX

五九―〇二〇六 成就

五九―〇四〇八 FAX

五三―〇〇〇八 土小屋

【振替】〇二六八―〇一―一八三六〇

【発行代表者】武智 正人

【編集】曾 我 部 洋 輔

【印刷所】ブリ・キュウ・プレス

【購読料】送料共 年五〇〇円

石鎚神社 で 検索